

[学術大会講演録]

第9回学術大会一般演題より

後発医薬品普及促進のためのナショナルデータベース (NDB) 研究

Study on the National Database (NDB) for Promoting Diffusion of Generic Drugs

武藤 正樹^{*a}, 羽田 明浩^a, 三津原 庸介^b, 高坂 又一朗^b,
栗原 邦彦^b, 武田 泰昭^b

MASAKI MUTO^{*a}, AKIHIRO HANEDA^a, YOSUKE MITSUHARA^b, MATAICHIRO TAKASAKA^b,
KUNIHICO KURIHARA^b, YASUAKI TAKEDA^b

^a 国際医療福祉大学大学院^b 株式会社日本医薬総合研究所

Summary : In an environment where promotion of generic drug use is advocated, the purpose was to construct a generic-drug-usage status analysis system with the aim of measuring the various prevalence factors of generic drugs, confirming the detailed current status, and analyzing progressive and inhibiting factors based on NDB sample information, which is assumed to best reflect the overall current state of generic drug usage.

From the study, we were able to realize the possibility of specific generic drug diffusion analysis, which has been absent to date, and further, we were able to confirm the usefulness as a basis for generic drug diffusion policy making and the monitoring of NDB data, and, by providing a more detailed analysis environment, we believe that it will be possible to exert a significant impact on generic-drug-usage promotion policies in future.

Key words : national database (NDB), study for promoting generic-drug use, generic-drug-usage status analysis system

要旨 : 後発医薬品の使用促進が叫ばれる中、現状の後発医薬品使用状況全体を最も反映しうると想定される NDB サンプル情報を基盤に、後発医薬品の各種普及度因子を測定、詳細な現状の確認、進捗因子、及び阻害因子の解析を目指し、後発医薬品使用状況解析システムを構築することを目的とした。研究の結論として、これまでにない具体的な後発医薬品普及分析の可能性を実感し、さらに普及政策立案、モニタリングの基盤としての NDB データの有用性を確認することができ、今後、より詳細な分析環境の提供により後発医薬品使用促進政策に大きな影響を及ぼすことができると考えられる。

キーワード : ナショナルデータベース (NDB), 「後発品」使用促進研究, 「後発品」使用状況分析システム

はじめに

我が国の保険医療制度の持続的発展を支える医療政策の一環として、後発医薬品の積極的な普及が進められてきた。この間、後発医薬品の使用促進手段として、後発医薬品の安定供給、処方箋様式の変更、一般名処方、後発医薬品調剤体制加算など種々の対策を実施してきた。

さらに現在、経済財政諮問会議では、2020 年までに後発医薬品市場シェア 80% (新指標) 目標や

高額医療等への具体的施策が打ち出されようとしている。

現在これらを推し進めるにあたり、現状の普及状況解析手段、また 2020 年までのロードマップを完遂するための後発医薬品の具体的な普及因子情報、因子トレース手段等は、まだまだ十分とは言えない状況下にあると推測する。

後発医薬品の現状分析ならびにロードマップ進捗状況モニタリング、都道府県の後発医薬品普及促進策立案にあたっては、薬価調査、調剤メディアスのデータベースと共に、ナショナルデータベース (NDB) を活用することにより、リアルタイムでより詳細な後発医薬品普及の現状把握及び政策立案が

* 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-34 戸田ビル青山 4 階
TEL : 03-5772-3396 FAX : 03-5772-3391
E-mail : mutoma@iuhw.ac.jp